



北中だより



<http://nk-kitanaka-j.la.coocan.jp/>

中野区立北中野中学校

★北中の良いところは？自慢できるところは？

校長 津村 慶

3年生は今、受験する高校も決まり、それぞれの入試に向けて最後のひと頑張りに精を出しています。これまでは、それぞれの課題に合わせた勉強を進めながら、高校調べや入試説明会への訪問を重ね、志望校を絞り込んできましたが、ここから先は合格を目指して、ひたすら努力をするだけです。3年生には、これまでに話してきた中で、2つの言葉をもう一度、思い出してほしいと思っています。“No pain, no gain!”と「継続は力なり」です。辛くても、今は自分を奮い立たせて頑張るとき。応援しています。

そんな3年生に12月から面接試験の練習を行っています。その模擬面接の中で「あなたの中学校の良いところ、自慢できるところは何か？」という質問をしています。さて、皆さんならどう答えますか。答えは人によって様々ですが、特に多いと感じるのが「男女関係なく仲が良くて、あいさつがしっかりとできる」という答えです。次に「なぜ、あなたの中学校では、みんな仲が良くて、あいさつが盛んなのだと思いますか。」と質問をすると「生徒会や委員会のあいさつキャンペーンがあるから。」や「先生方がよくあいさつをしてくれるから。」「行事の時にクラスで団結して盛り上がるから。」といった答えが多く聞かれます。これまでも、何度か「北中生のあいさつ」に関する話題を紹介してきましたが、多くの人が仲の良さやあいさつを「北中の良さ」と思っているのは、とても嬉しいことです。

では、改めて皆さんが普段している「あいさつ」について考えてみましょう。皆さんは誰にでも、同じようにあいさつができていますか。「仲の良い友達ならするけど、そうじゃない人とは…」とか「学年の先生にはするけど、教えてもらっていない先生には…」ということはありませんか。また、相手の目を見て優しい気持ちで声を掛けていますか。相手に聞こえないような小さな声だったり、声を出さずに頭を下げるだけだったりでは、十分に気持ちが伝わらないかもしれません。

「おはようございます。」「こんにちは。」「ありがとうございます。」「失礼します。」「よろしくお願ひします。」「お疲れ様です。」「さようなら。」「またね。」など、それほど親しくない間柄でも、生活する中であいさつができる場面はたくさんあります。それらの場面でしっかりと言葉を伝えることで、次の会話が生まれたり、別の話題に繋がったりすることもあります。

あいさつは人と人との関係をつなぐ第一歩です。だからこそ、仲の良い友達や親しい先生方だけでなく、それ以外の人にも積極的にあいさつをしていくことで良い関係が生まれたり、新たな友達ができたりします。あいさつの大切さは、大人になればなるほど増していきます。しっかりとしたあいさつができることはこれから皆さんが進んでいく社会において、絶対に身につけておかなければならない重要なマナーなのです。あいさつをされて嫌な気持ちになる人はいないでしょう。相手が嬉しくなるような、明るい気持ちになれるようなあいさつが自分からできるようになるといいですね。



こんにちは！

四季の中で考えると、寒い冬こそ読書に最適なのではないかと、実はひそかに思っているのですがいかがでしょうか？温かいお部屋で、好きな飲み物でも用意して、ゆっくり読んでいる本の中で、他学年になったり、大人になったり、誰かの人生を疑似体験したり、未来へ行ったり、魔法を使ったり、外国へ行ったり、過去へ行ったり、読書の旅をしてみは？
北中野中学校 学校図書館司書

「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2」 ブレイディみかこ(著) 新潮社



「ぼくは…」の第2弾！ノンフィクション（物語ではなく、事実に即して書かれた作品）アイルランド人の父ちゃんと日本人の母ちゃんの間生まれた“ぼく”は13歳になった。今でも階級が残るイギリスで、「元底辺中学校」に通っている。学校では、フリーランスで働くためのビジネスの授業、摂食障害やドラッグについて発表する国語のテストなど、多様性に富んだ授業がある。事件や問題もしょっちゅう起こる。ぼくは今でも、体験や悩みを母ちゃん父ちゃんに話して一緒に考えてもらってるけれど、自分の部屋にいても増えたとし、親に話さないことも出てきたし、素直になれない時もある。まるでぜんぜん階段を昇っているような気分だ。今回も、魅力的な登場人物たちやエピソードがいっぱい！そして完結編です。

「52ヘルツのクジラたち」 町田 そのこ(著) 中央公論新社

人生を家族にむしり取られて生きて来た貴瑚(きこ=愛称キナコ)は、大人になり田舎へ移住した。実家を出て世間からも隠れて、目立たないように暮らそうと決めたのだった。だがその町で出会ったある少年は、母親に虐待され続けて心が壊れて声が出せない様子だ。文字は書けるが、名前を教えてはくれない。その少年を放っておくことの出来ないキナコは、少しずつ外との関わりを持ち始めていく。クジラの中で、52ヘルツの高さで歌うクジラがいて、その声は、他のクジラに届かない。かつてキナコの声は誰にも届かなかった。少年の声を聴きたいキナコに、それは届くのだろうか？



「はたらく細胞 06」 清水 茜(著) 講談社



例えば、肺炎を起こしたとき、花粉症になったとき、すり傷を負ったときに、自分の体内では何が起きているのか、白血球や赤血球や血小板などの細胞たちがどう戦ってくれているのかが良く分かる、一言で言うと、とっても勉強になるマンガです。この6巻では、たんこぶ・iPS細胞・新型コロナウイルスなどにスポットを当てています。擬人化された細胞たちの働きを知ってあげてください。けなげです。また、「はたらかない細胞」「はたらく細菌」もあります。私たちの体内でどんな活躍をしているのかが、詳しく分かります！

「おとぎカンパニー」 田丸 雅智(著) 光文社

ショートショートの大神様と言えば、みなさんご存じの星新一さんですが、この本を書いた田丸雅智さんは現代のショートショートの旗手と呼ばれています。星さんのように、5分間で未知の世界へ連れて行ってくれる若手のホープです。この本のテーマは童話。みんなが知っているラプンツェルや白雪姫、金の斧など14のお話を大胆にアレンジしています。「おとぎカンパニー」はシリーズで、「日本昔ばなし編」と「妖怪編」を所載しています。



「訴歌(そか) あなたはきっと橋を渡ってきてくれる」 阿部 正子編 皓星社



ハンセン病を知っていますか？現代では特効薬も開発され、障害も全く残らず完治する病気となりました。ですが、この病気が解明されるまでは何世紀にも渡り、患者はその外見と感染への恐怖から恐れられ、ある日突然隔離され、療養所内で一生を過ごさなくてはなりません。一生ですよ。この本は、少年少女から大人まで千人余りのハンセン病療養者が、療養所内で詠んだ一詩や短歌や俳句や川柳を「希望」「ふるさと恋し」「偏見」などのテーマで集めて出来上がりました。亡き者とされた人々にとって、これらの歌は命の証です。過酷な状況を誇り高く生き抜いた証です。こういった背景を心に留めながら、読んでみてください。

「僕はロボットごしの君に恋をする」 山田 悠介(著) 河出書房新社

今から40年後はどうなっているのでしょうか？2060年、オリンピック開催が迫る東京はAIの開発が進み、警備用として秘密裏に遠隔操作人型ロボットが開発され、試験運用されている。背が低くて冴えないと思っている健は、AIによる極秘治安維持プロジェクトのロボット操作官で、ロボットを操作するときに調子に乗ってしまう癖がある。そんな彼が恋するのは、幼なじみの素直で明るい咲。彼女をロボットでストーカーから守ったことがきっかけで、正体を隠しながらつきあっている。そしてオリンピック当日、事件は起きる。その後、予想外の事実が次々と明かされていく……。



「お父さんはユーチューバー」 浜口 倫太郎(著) 双葉社

沖縄県宮古島のゲストハウスゆいまーるのオーナー勇吾は、ハチャメチャな性格だがなぜか人をひきつけ、勇吾によってつらい過去から救われて働き始めた人たちは、いつしか“やーでい”(沖縄語で家族)同様になり、ゆいまーるを支えていた。一人娘で小5の海香は絵を描くことが大好きで、将来は東京の美術大学に入りたいと思っているが、勇吾は突飛もないアイデアを実行しては失敗するし、なぜか頻りに東京へ行っているのに理由は秘密だ。そして今度はユーチューバーになると言い出した。はてさてどうなる？人の縁を大切にしたい家族愛あふれる物語です。



「武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方」 宮田 律(著) 平凡社

アフガニスタンのジャララバードで2019年12月4日、中村哲医師(当時73歳)が乗った車が武装集団に襲撃され、中村医師を含む6人が死亡した。中村医師は、干ばつや40年以上続く戦乱で荒廃したアフガニスタンで、診療や治療を続けながら、灌漑(かんがい)事業による復興支援に力を尽くしている、まさにその真っ最中だったのに。“百の診療所より1本の用水路を!”と立ち上がった、その経緯や生き方をぜひ知ってください。「医師、用水路を拓く」「希望の一滴 中村哲、アフガン最期の言葉」も所載しています。合わせてどうぞ。

「大人も知らない!?SDGsなぜなにクイズ図鑑」 笹谷 秀光(著) 宝島社

今、地球が悲鳴を上げています。貧困や差別、感染症、気候変動、紛争など、地球規模の問題がたくさんあります。それらの解決のためには、国を越えて世界中のみんなが協力しなければなりません。そこで国連(国際連合)は、17の目標を定めました。これらの目標を2030年までに達成するというのが世界人類共通の約束で、それがSDGsです。それで今、テレビなどでもよく話題になっているのですね。この本は、クイズ形式になっているので、とてもよく理解できますから、自分は何に取り組もうか、何ができるかを考えてみましょう!



「聞かせて、おじいちゃん——原爆の語り部・森政忠雄さんの決意」 横田明子(著) 国土社

きっかけは5年生のかわいいお孫さんに、自由研究にするから原爆の話をしてほしいとせがまれたことでした。それまでのおじいちゃんは、原爆体験がとても恐ろしくつらかったので、誰にも語る事が出来ず早く忘れたいと思っていましたが、戸惑いながら話してくれました。戦争を体験して、語り部をしてくださっている方々も高齢となり、実際にお話を聞くことが段々難しくなっています。ぜひこのような本で、体験者の声を、読んで聞いてみてください。

「DIVE ダイブ!!」 森 絵都(著) 角川文庫

東京2020オリンピックでは、みなさんと同じ年頃の玉井陸斗くんが活躍していましたね。きれいでした。飛込競技は、高さ10メートルの飛び込み台からダイブして、わずか1.4秒の空中での演技の正確さと美しさを競います。その一瞬に魅了された少年たちの通うダイビングクラブは、弱小で存続の危機にありました。なんと、存続させる条件がオリンピック出場だなんて!!女性コーチの指導に戸惑い反発しながらも、熱い戦いが始まります。



「小説 弱虫ペダル1~7」 輔老 心(ノベライズの著者) 岩崎書店フォア文庫

千葉県立高校1年の小野田坂道は、小4から往復90kmを自転車で秋葉原まで通う、アニメやゲームを愛するオタク少年。アニメ研究会へ入部するつもりが、なぜか同級生の今泉俊輔から自転車レースを挑まれる。また、関西から引っ越してきた鳴子章吉と友人になる。この2人との出会いから、自転車競技部に入部すると、今までに経験したことのない“自転車で速く走る楽しみ”を見出していくのだった。コミック通称「弱ペダ」のノベライズです。「鬼滅の刃」のノベライズも3冊ほどあります。マンガとは、また一味違う小説版をぜひ読んでみてください。

「クリスマスの幽霊」 ロバート・ウェストール(著) 徳間書店

雪のクリスマス・イブ。こんな夜も父さんは工場で働いている。ぼくは、父さんが忘れた弁当を、雪の積もった美しい町を歩いて届けに行った。エレベーターに乗ると不思議なものを見た。壁の鏡に、サンタクロースみたいなお爺さんの顔が映ったのだ。でも、振り返ると誰も乗っていなかった。何の気なしにその話をすると、父さんやなかまの人たちの顔色が変わった。それは幽霊で、誰かがそれを見るとその日に工場で事故が起こり、死人が出るというのだ。どうしよう、事故に遭うのがお父さんだったら…クリスマスのワクワクするような出来事は起きないけれど、少年の小さな勇気が冒険になって、奇跡を起こします。



☆☆☆先生方も頑張っています☆☆☆

12月13日(月)、中野区教育委員会の指導主事の先生方にお越しいただいて、先生方の授業力を向上させるための勉強会を開きました。全クラスの4・5時間目の授業を見ていただき、その後、授業内容についての協議会を行いました。テーマは、今年から全面実施となった新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」についてです。各授業で行った学習活動の良かった点やより効果的な学習にするための改善点などを、指導主事の先生方を交えたグループ討議で話し合いました。協議会の後には本永指導主事から、新しい評価に関する講義をしていただき、先生方からの多くの質問に答えていただくなど、充実した勉強会になりました。合唱コンクールに向けた準備で忙しい時期ではありますが、より良い授業のために先生方も頑張っています。



♪ 3年生が2名「税の作文」で表彰☆されました!! ♪ ♪

中野納税貯蓄組合連合会が主催する「税についての作文」審査会で表彰されました。Kさんの「暮らしを影から支えてくれている税金」が「中野区長賞」に、Kさんの「税によって開かれる未来」が「東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞」に選ばれました。

12月8日(水)に中野区役所で行われた表彰式で、酒井区長と丸岡連合会長からそれぞれ賞状を受け取り、記念撮影を行いました。区内の国公立・私立中学校から集まった数多くの作品の中で、北中生の作文が2点も表彰されたのは、たいへん嬉しく誇らしいことです。



地元の食材で食育をすすめています!

12月6日の給食のメニューは練馬大根を使った大根おろしソースパスタでした。前日に家庭科の先生と栄養士の先生が練馬区大泉の畑で収穫した練馬大根を使用しました。給食室の前には本物の練馬大根が八百屋さんでよく見かける青首大根と並べて展示されました。

開校60周年の講演会で、北中の周辺では昔、練馬大根を使った沢庵作りが盛んだったというお話も聞きました。栽培方法が難しく、今では見かけることが少なくなった練馬大根ですが、食の豊かさを知ることによって伝統ある東京産の野菜を大切に守りたいですね。

